

記念日は
思い出ではなく
今を映す鏡だ。

11月11日は介護の日

記念日のありがた

私たちの日常には、たくさんの記念日が溢れていますよね。クリスマスやバレンタインデー、プライベートなものでは家族の誕生日、結婚記念日など。だんだん年を重ねていくと、こうした記念日は過去の思い出話になりがちです。特に世の男性は記念日に関して徐々に関心が薄くなるようでして、妻の誕生日、結婚記念日、あげくには自分の誕生日まで、ふと気づくと「あ、今日だった」ということが・・・。

「記念」という言葉の意味を調べてみると、過去の出来事への思いを新たにし、何かをすること。

「大辞林 第三版」より

と、あります。

クリスマスや誕生日など、記念日は得てして人と人の関わり場です。忘れる、というのは論外ですが、思い出話に花を咲かせるより、今の家族や友人との関わりを、しっかりと見つめる機会にしたいものです。

昔のサントリーオールドのCMに「恋は遠い日の花火じゃない」という名コピーがありますが、過去を思うより、やっぱりこれから先のことを思いたいものです。

今を映す「介護の日」

来月、新しい記念日が制定されます。でも、新しい祝日はありません(笑)

11月11日「介護の日」

日本の医療・介護について、その危機的状況や大規模な公的資金のニュースがマスコミで報

道されています。高齢化社会を迎えた日本で、担い手が不足している介護の現場は今、岐路に立たされています。

記念日が生まれただけで、世の中の意識が変わることはありません。変えるためには積極的な「アクション」が必要です。

記念日制定をきっかけに国内の介護福祉士養成校からなる、**日本介護福祉士養成施設協会**が介護の現場を知ってもらおうと様々な広報活動を実施します。

グループに介護福祉士養成校を持ち、クライアントにも介護施設を持つ弊社は、この「アクション」に**デザインで参画**しています。誤解されがちな介護の現場を、少しでも正しく知ってもらえるように、また少しでも興味を持ってもらえるように、様々なアプローチで介護の「今」を伝えていきます。



次代の担い手となる高校生へのプロモーションに力を注ぎ、全国の高校や短大・大学・専門学校(介護福祉関連)へポスターや冊子、DVDなどを大規模に配布します。

* 社会福祉士及び介護福祉士養成施設(一般に、介護福祉士を養成する専門学校、短期大学、大学)の全国団体。

弊社のデザイン実績が2年連続で選定されました

「とこよの國いばらき三ッ栗*」が
いばらきデザインセレクションに選定!

www.idpc.jp/project/tocoyo/

茨城県デザインセンターで主催される、県内の良質なものづくり(デザイン・しくみ・社会貢献)に対する選定事業。今年は県内80件の応募があり、弊社は昨年に続いて選定され、10月15日に授賞式が行われました。



6月に県庁で行われた茨城郷土工芸品での様子